

# 地方自治法施行60周年記念貨幣の解説（平成22年度発行分）

## 高知県（平成22年度）

この記念貨幣は、「坂本龍馬と太平洋～時代を切り拓いた土佐人とその風土」をテーマに、発行されるものです。

記念貨幣の表面は、高知県を代表する歴史的人物である坂本龍馬の肖像と桂浜の風景をデザインしています。

※坂本龍馬（西暦1835年～1867年）：江戸時代末期の動乱の中で、薩長同盟や大政奉還などに奔走するとともに、亀山社中を組織し外国との貿易にも傾注した、幕末の志士。

※桂浜：高知県を代表する景勝地。坂本龍馬の銅像が太平洋を望んで立ち、黒潮踊る太平洋に面した浜は、月の名所としても名高い。

（平成22年1月16日から平成23年1月10日までの間「土佐・龍馬であい博」開催）

## 岐阜県（平成22年度）

この記念貨幣は、「長良川の鶺鴒」をテーマに、発行されるものです。記念貨幣の表面は、岐阜県の豊かな清流を象徴する長良川の鶺鴒の代表的な情景として、鶺鴒匠の手繩さばきや鶺鴒が鮎を捕らえる様を間近で見ることができる「狩り下り」をデザインしています。

※長良川の鶺鴒：長良川の鶺鴒は、およそ1,300年の歴史を有し、毎年5月11日から10月15日まで、岐阜市及び関市で行われている。皇室の保護のもと、日本で唯一の御料鶺鴒。平成22年度は、明治23年に鶺鴒匠が宮内省（当時）に所属とされてから120周年に当たる。長良川の鶺鴒匠は、宮内庁式部職鶺鴒匠とされ、鶺鴒用具一式は国の重要有形民俗文化財となっている。

## 福井県（平成22年度）

この記念貨幣は、「アジアの恐竜研究拠点」をテーマに、発行されるものです。記念貨幣の表面は、福井県勝山市で発見された恐竜化石（フクイラプトル）の生体イメージと東尋坊の風景をデザインしています。

※フクイラプトル キタダニエンシス（*Fukuiraptor kitadaniensis*）：カルノサウルス類に属する肉食恐竜（獣脚類）全長4.2m（推定）。福井県勝山市での発掘調査により約1億2000万年前（中生代白亜期）の地層から骨格一部の化石が出土。分類学的調査研究により、新属新種であることが判明。

※東尋坊：越前加賀海岸国定公園に属し、福井県坂井市三国町に位置し日本海に面する断崖。国の名勝・天然記念物に指定されている。年間120万人を超える観光客が訪れる福井県を代表する景勝地。

（アジアの恐竜研究拠点を目指して、福井県勝山市に平成12年7月14日にオープンした福井県立恐竜博物館が平成22年で10周年を迎えます。）